

総合診療実習を終えて

今年5月8日から一カ月、新潟市民病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。先生方はお忙しい中熱心かつ丁寧にご指導してくださり、大変充実した時間を過ごすことができました。

患者様のお話から鑑別疾患を考え、情報を整理しながら問診を行うことは想像以上に難しいものでした。外来では限られた時間の中で診断に辿り着くことが求められます。問診で得た症候から必要な検査を考え、診断を決定するにあたってどのような思考プロセスが必要とされるのかを、実際の症例を通して学ぶことができました。また、質問の仕方によって得られる情報が全く異なるケースが散見され、改めて問診の重要性を感じました。

実習の中で、医師としてのリアルな業務を目にすることができたことも印象的です。事務的な手続きやスタッフとの連携、他院との情報交換など、表には出ないものの必要とされる様々な業務を学ぶことができました。

温かくご指導してくださった先生方、実習にご協力いただいた患者の皆様に感謝申し上げます。今後どのような専門領域を選択するとしても、今回の実習で学んだ総合診療科としての考え方を忘れることなく歩んでいきたいと思っております。